

小規模多機能型居宅介護 サービス評価

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年11月28日(18:30~19:15)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 上古、後藤、山中、安川、鈴木、藤本、山崎、奥村、塩尻、高山、谷口、若狭

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	11	1	1	15

前回の改善計画
① ミーティングや書面での情報やニーズ等の確認を、積極的に行う。 ② 安心して過ごせるよう職員側から積極的な声かけ・コミュニケーションを図る。 ③ 知りえた情報は、ミーティング等で共有、情報交換し、記録に残す。 ④ ご家族とコミュニケーションをとる機会が持てるように努める。(サービス担当者会議等への参加等)
前回の改善計画に対する取組み結果
ミーティングや書面での情報共有が以前より円滑になり、利用者ニーズを職員全体で把握しやすくなった。積極的な声かけやコミュニケーションにより、表情や行動も早くに馴染むような良い変化が見られた。得られた情報は記録として整理され、ケアへ反映しやすい体制が整った。また、ご家族との連絡や会議参加を重ねることで信頼関係が深まり、ケア方針の共有と連携が強化された。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	6	7	1	1	15
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	3	10	1	1	15
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	5	8	1	1	15
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3	10	1	1	15

できている点	200字以内で、できていることと、その理由を記入すること
	初期支援では、ミーティングやケア会議での情報共有を徹底し、事前情報の早期確認や他事業所のヘルパー訪問への同行にも努めている。初めてのご利用者が不安にならないよう積極的に声掛けや紹介を行い、職員から関わりを持つ姿勢を大切にしている。送迎時にはご家族とも積極的にコミュニケーションを図り、通いノートや記録で情報を共有している。また、自分のことを覚えてもらうよう意識し、信頼関係づくりに取り組んでいる。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	事前情報を基に支援内容は確認できるものの、本人の希望や思いは実際に関わらなければ把握が難しく、初期支援として不十分さを感じることもある。家族と直接会う機会が少ない職員にとっては、性格・嗜好の理解に時間がかかる。独居世帯のご家族との連絡機会が少なく、どこまで関わるべきかの判断や、家族との役割分担も不明確で支援に課題を感じている。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	初回利用日から2週間は重点的に観察・声かけを行い、短時間でも個別対話の機会を確保する。情報不足を補うため、送迎や訪問時の声かけや電話連絡を行い、性格・嗜好・役割等を早期に把握する。支援範囲・優先順位の迷いをなくすため、職員間で迷った点を即時相談できる体制をつくる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年11月28日(18:30~19:15)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 上古、後藤、山中、安川、鈴木、藤本、山崎、奥村、塩尻、高山、谷口、若狭

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		9	4	2	15

前回の改善計画

① ご本人の目標、したいこと、想いを知るために積極的にコミュニケーションを図る。
② 言語だけのコミュニケーションではなく、表情や動作、しぐさなどからしたい事を探る。
③ 実践内容に関して、ミーティング等で振り返り、共有し対応の検討を行う。

前回の改善計画に対する取組み結果

ご本人の思いや希望を把握するため日常的に声かけを行い、会話以外にも表情や動作の変化に注目して“したいこと”を読み取るよう取り組んだ。気づいた内容は随時共有し、ミーティングで実践状況を振り返りながら支援方法を検討した。その結果、ご本人の希望に沿った活動提案が増え、生活意欲の向上につながったケースが多くある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?		5	8	2	15
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		7	6	2	15
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		5	8	2	15
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	7	5	2	15

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

日々の支援で利用者の気持ちや思いを丁寧にくみ取り、基本的な生活動作やリハビリ、歩行訓練などに反映している。買い物などの希望も可能な限り実現し、個別援助計画に目標や「したいこと」を明確に記載して職員間で共有。支援内容はミーティングで発信・振り返りを行い、利用者の強みを生かしたアプローチや支援方法の工夫につなげている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

利用者一人ひとりの目標を十分に把握できておらず、深い思いや「したいこと」を知るためのコミュニケーションが不足している。また、利用期間が長くなると情報共有が不十分になり、ケアプラン内容の理解も職員間でばらつきがある。日常支援以外の取り組みを企画・実行できていない点も課題となっている。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

日常の会話を通じ、ご利用者の目標や思いを把握し、職員間で共有し支援方法を検討する。
「何がしたいか」という質問では答えにくいこともあり、いくつかの活動を試行し、その際の表情や動作からご本人の関心を把握するよう努める。
ご本人が意欲的に取り組める活動を見つけ、実行する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年11月28日(18:30~19:15)

3. 日常生活の支援

メンバー 上古、後藤、山中、安川、鈴木、藤本、山崎、奥村、塩尻、高山、谷口、若狭

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	11	2	1	15

前回の改善計画

① ご利用者の望む生活を支援するためにも、「以前の暮らし方」を意識し知るよう努め共有する。
② ご利用者の体調の変化や思いに気が付いたポイント(細かな表情の変化や言動・行動等)等共有する。
③ ご利用者の変化に応じ、声掛けやコミュニケーション、ケアや支援内容を変更し適切に対応する。
④ 適切な支援が効果的に行えるよう、福祉用具やICT等についても理解を深める機会を持つ。

前回の改善計画に対する取組み結果

ご利用者の生活歴を把握する中で、以前の暮らしを10項目以上整理することは難しかったが、家族への聞き取りやご本人との会話の中で主要な習慣を共有できた。表情や食事量の変化を早期に共有し受診につながった事例もあった。状態に応じた声掛けや介助方法の検討、福祉用具の活用で安全な支援が可能となった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		2	11	2	15
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	4	8	2	1	15
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		12	1	2	15
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	6	7	1	1	15
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	10	1	2	15

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

日々の関わりや入浴時の観察、体重測定などを通して体調変化を細かく把握し、職員間で迅速に共有・対応できている。ミーティングでの情報交換により本人の気持ちや以前の暮らしを踏まえた支援につながっており、食事形態や介助内容も状態に合わせて調整している。些細な変化も共有し、安心して楽しく過ごせるよう支援できている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

家族からの支援内容の変更が職員間で共有されるまでに時間がかかることがある。意思伝達が難しい利用者の以前の暮らしや希望を十分に把握できておらず、ケアや支援方法、福祉用具に関する知識も不足している。その場での判断・対応や生活環境の理解も十分とは言えず、インテーク時の情報も不十分な場合がある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

利用者や家族の希望・支援変更を速やかに職員間で共有できる連絡体制を整え、情報伝達の遅れを防ぐ。意思疎通が難しい利用者について、聞き取り・観察・家族連携を強化し、支援計画に反映する。ケアの方法や福祉用具、生活環境を理解し、現場で適切に判断・対応できる支援体制を整える。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年11月28日(18:30~19:15)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 上古、後藤、山中、安川、鈴木、藤本、山崎、奥村、塩尻、高山、谷口、若狭

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	10	3	2	15

前回の改善計画
<p>①ご家族は、社会資源としての立場であると同時に、助けを求める立場にもなることを理解して、ご家族とご本人の関係性、家庭での役割などを把握できるように努める。</p> <p>②地域の社会資源を把握し、活用しながら過ごしていただけるような働きかけを行う。</p> <p>③地域の方とご利用者の関係が継続できるよう、自宅で過ごせる時間を大切に支援する。参加できるよう必要な身体機能を維持する。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果
<p>ご家族が支援者であると同時に支援を必要とする立場であることを意識し、家庭での役割や関係性を聞き取り共有した。地域のサロンや配食サービスなど社会資源を紹介し、利用につながった事例もあった。自宅で過ごす時間を尊重し、訪問時の見守りや生活リズムの調整を行ったほか、歩行訓練や体操を取り入れ、地域行事へ参加できるよう身体機能の維持に努めた。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		6	8	1	15
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		11	2	2	15
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	5	7	2	15
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		6	7	2	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<p>ご利用者の生活スタイルや人間関係を理解し、ご家族との役割分担を尊重しつつ支援。介護負担を見極め、任せきりにせず経過を把握。地域の社会資源や行事への参加も支援し、隣組や地域ルールに配慮。ご家族との連絡・情報共有を行い、間接的支援も活用することで、事業所・家族・地域の協力関係とチームケアを醸成している。</p>

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<p>サービス利用開始後や通所サービスが増えることで、地域との関係が希薄化する傾向が見られる。また、地域の社会資源やご利用者のこれまでの生活スタイル・人間関係の把握が十分でない部分があり、支援の幅やつながりの維持に課題がある。</p>

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<p>通所サービス利用中も地域交流の機会を確保し、地域とのつながりを維持する。 ご利用者の生活スタイルや人間関係を把握し、必要な地域資源を整理・共有して支援に活かす。 ご家族が支援者であると同時に支援を必要とする立場であることを意識し、家庭内の役割や関係性を踏まえた支援を実施する。</p>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年11月28日(18:30~19:15)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 上古、後藤、山中、安川、鈴木、藤本、山崎、奥村、塩尻、高山、谷口、若狭

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3	9	2	1	15

前回の改善計画

- ① これまでから継続し、地域資源を活用されている方に関しては、活用を継続していけるよう支援す
- ② 必要な場面で適切に、通い、訪問、泊りといったサービスが利用できる体制に努める。
- ③ 体調や想いの変化を把握し、共有するように努める。確実に記録に残し、ミーティングで共有を図る。

前回の改善計画に対する取組み結果

地域行事や趣味活動などを継続して参加されているご利用者には、参加機会を維持できるよう訪問や送迎の調整等必要な支援を行った。通い・訪問・泊りのサービスは、体調や予定に応じ柔軟に調整し、必要な支援を迅速に提供できる体制を整えた。日々の体調や気持ちの変化を細かく観察・記録し、職員間で共有することで、支援内容の見直しや適切な対応に活かすことができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	7	4	2	15
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	4	9	1	1	15
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	6	7	1	1	15
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	4	8	2	1	15

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

ミーティングや記録で情報共有し、その日の変化に応じた柔軟な支援を実施。受診、ゴミ出し、買い物、金銭観理などは事業所で抱え込まず連携対応。体調変化に気づき急な訪問にも対応。公共交通機関や地域行事を活用し、ご本人や家族の希望・生活スタイルに合わせた訪問・宿泊支援を行い、職員都合でなく生活全体として支援している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

職員体制等により、泊まり利用に制限が生じる場合があり、夜勤体制の制約で柔軟な対応が十分でない。地域資源はコロナ以降減少し、活用が難しい状況であり、職員の理解も不十分。ミーティングに参加できない職員への情報共有が不足することがあり、全体的な柔軟性や多機能性の確保に課題がある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- 夜勤体制や泊まり利用の調整方法を見直し、柔軟な支援提供ができる体制を整える。
- 減少している地域資源について情報収集と活用方法を検討し、職員の理解と活用力を高める。
- ミーティングに参加できない職員にも情報が確実に届くよう、共有手段や仕組みを整備する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年11月28日(18:30~19:15)

6. 連携・協働

メンバー 上古、後藤、山中、安川、鈴木、藤本、山崎、奥村、塩尻、高山、谷口、若狭

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	6	7	1	15

前回の改善計画

- ①他事業所や包括支援センター、地域との会議に参加し、事業所内で情報の共有を図る。
- ②地域の活動やイベントに参加する。

前回の改善計画に対する取組み結果

他事業所や包括支援センター等の主催する会議に参加し、社会資源や社会動向などの情報共有を行い、職員間で共有した。また、地域の防災訓練や祭りなどのイベントに参加し、利用者が地域とのつながりを維持できるよう支援した。地域資源の活用や他機関との連携が円滑になり、支援の質向上につながった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	1	5	3	6	15
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1	5	3	6	15
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	2	7	5	1	15
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	2	7	5	1	15

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 事業所は地域との関わりを積極的に持ち、地藏盆や文化祭、防災訓練などの地域行事に参加し交流を深めている。同一敷地内のひだまりスペースでは認知症カフェや老人会、小学生も含めた幅広い年代が訪れ、地域との関係構築に努めている。地域会議への参加や焼き芋企画などを通じ、事業所自体も社会資源の一つとして機能している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 他機関の会議や地域行事への参加機会が限られ、利用者と職員と一緒に楽しむ機会が少ない。参加できる職員も限られ、会議で得た必要な情報の共有が不十分。岡野事業所との会議参加や桃山利用者の地域交流も少なく、人為的な要因により地域イベントへの参加が十分に行えていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 会議内容や地域活動の記録・報告体制を整備し、職員全員が必要な情報を共有できるようにする。
 利用者と職員が共に参加できる地域行事やイベントの機会を計画的に増やす。
 他事業所や地域団体との会議参加の機会を確保し、交流と連携を強化する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年11月28日(18:30~19:15)

7. 運営

メンバー 上古、後藤、山中、安川、鈴木、藤本、山崎、奥村、塩尻、高山、谷口、若狭

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3	9	2	1	15

前回の改善計画

① ご本人やご家族から色々な意見をいただけるよう、話しやすい雰囲気を常に心がける。
② お1人暮らしでおられる方のご家族に対しても、ご様子をお伝えする等して関係の構築に努める。
③ 苦情や意見に対して、責任をもってしっかりと早期に対応する。
④ 自分たちの強み、良いところを理解し、お伝えできるように努めていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

自然に想いが話せるよう、日常の会話で話しやすい雰囲気づくりに努めた。お一人暮らしの利用者には、ご家族へ様子を報告し、安心感を伝えられるよう努め、信頼関係の構築を図った。苦情や意見は真摯に受け止め、早期に対応した。また、事業所の強みや良い点を職員間で確認できるよう意見交換等を行っている、他に伝えるまでには至らなかった。地域の地藏盆などへの参加が継続できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	2	6	5	2	15
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	12		1	15
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	10	2	2	15
④	地域に必要なとされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	1	8	4	2	15

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

話しやすい雰囲気を心がけ、ご利用者や家族との関係構築に努めている。苦情や意見には早期に真摯に対応し、遠方の家族とも連絡を重ね関係を維持。訪問・通所ノートで様子を共有し、家族からのコメントも職員間で共有。事業所企画やボランティア参加を通じて、地域との関わりを深める取り組みも行っている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

地域や利用者関係者からの意見を十分に吸収できていない場合がある。事業所の強みや良い点を十分にアピールできておらず、職員自身も事業所のあり方や運営の意義を深く理解できていない状況がある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

地域やご利用者、関係者からの意見を定期的に収集・分析し、職員全員で共有・活用する仕組みを整える。事業所の強みや運営方針を職員全員が理解し、対外的にも発信できるよう研修や情報共有の機会を設ける。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年11月28日(18:30~19:15)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 上古、後藤、山中、安川、鈴木、藤本、山崎、奥村、塩尻、高山、谷口、若狭

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	11	2	1	15

前回の改善計画

- ① 能力の向上も、業務の効率化につながることを理解し、研修や勉強会に参加する。
- ② 積極的にヒヤリハットを提出し、対策を検討するなど、リスク管理に努める。
- ③ 地域の関係機関等の会議等に参加し、得た情報等を共有できるよう努める。

前回の改善計画に対する取組み結果

研修や勉強会を通じて認知症理解と支援技術の向上を図った。習得した技術をケアに反映し、生産性向上委員会での意見交換によって業務効率化と質の向上につながった。ヒヤリハットを積極的に提出し、対策を検討することでリスク管理も強化された。さらに、地域の関係機関の会議で得た情報を事業所内で共有し、連携強化と安全な支援に活かすことができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	4	8	2	1	15
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	6	4	3	15
③	地域連絡会に参加していますか	1	2	5	7	15
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	9	2	2	15

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

職場内の勉強会に参加し、学んだ知識を日々の介護や支援に生かしている。資格取得に向けた自主学習にも取り組み、専門性を高めている。ヒヤリハットを積極的に提出し、原因分析や再発防止策を話し合うことで安全対策を強化し、リスクを事前に把握して未然防止につなげている。利用者の体調変化には早期に気づき、家族への連絡や対応を速やかに行っている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

地域外研修や地域の会議への参加が十分にできておらず、勉強会や研修も勤務状況により参加が限られている点が課題となっている。研修後の学びが他スタッフへ十分共有されておらず、能力向上や業務効率化につながりにくい状況も指摘されている。既存の研修内容だけではスキルアップが不十分と感じる声もあり、学びを広める仕組みづくりが求められている。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

勤務調整やオンライン活用により研修参加の機会を拡充し、誰もが参加しやすい環境を整える。
研修参加者の学びを共有できる報告ミーティングの仕組みをつくり、全職員のスキル向上につなげる。
他事業所や関係機関の会議へ複数職員が参加し、経験の蓄積と地域連携の強化を図る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年11月28日(18:30~19:15)

9. 人権・プライバシー

メンバー 上古、後藤、山中、安川、鈴木、藤本、山崎、奥村、塩尻、高山、谷口、若狭

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	12		1	15

前回の改善計画
①ご利用者の情報の申し送りに関して、場所や声の大きさなどに配慮する。 ※伝える側だけでなく、聞く側からも必要に応じ修正できる声掛けをおこなう。 ②焦りや苛立ちなどで、気分や機嫌が悪い様子が表出しないようコントロールする。 ③身体拘束や虐待に関する勉強会や研修会に取り組む。
前回の改善計画に対する取組み結果
申し送りでは周囲に人がいない場所や、声量にも注意するなど、伝える側・聞く側双方で配慮の声掛けを行い、個人情報保護の意識が高まった。また、身体拘束や不適切ケアは職員の負担や焦りから生じやすいため、適宜交代できる体制を整え、感情をコントロールし落ち着いた対応ができた。さらに、身体拘束や虐待防止研修に参加し、適切な支援のあり方を再確認することで、人権尊重の姿勢がより定着した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	11	3		1	15
②	虐待は行われていない	12	2		1	15
③	プライバシーが守られている	3	10	1	1	15
④	必要な方に成年後見制度を活用している	6	7		2	15
⑤	適正な個人情報の管理ができている	5	8	1	1	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	身体拘束や虐待防止に関する勉強会を継続して実施し、学んだ内容を日々のケアに生かしている。入浴時は脱衣場での利用者同士の距離や関係性に配慮し、プライバシーが守られるよう工夫している。委員会でも事例検討を行い、全体への啓発につなげている。また、トイレ誘導時には声の大きさを調整するなど個人情報が漏れないよう配慮し、必要な利用者には成年後見制度も適切に活用している。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	トイレ誘導時の声かけが他利用者に聞こえる場面があり、ホールから移動の様子が見えてしまうなどプライバシー確保が不十分な場面がある。また、パソコンを開いたまま放置したり、書面・バイタル表が利用者の目に触れる場所に置かれるなど情報管理面の課題も見られる。さらに、排泄に関する職員同士の会話が利用者にも聞こえることがある。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	トイレ誘導時の声量や動線、視線への配慮を見直し、プライバシーが確保できる環境を整える。パソコンや書類の管理方法を徹底し、離席時の画面ロックや置き場所の見直しなど情報管理を強化する。接遇マナー研修を実施し、声かけや態度の基準を共有して不適切ケアの防止と人権尊重を徹底する。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	福) 丹後福祉会	代表者	吉岡喜代和	法人・事業所の特徴	法人としては、特別養護老人ホーム、グループホーム、通所介護、訪問介護、小規模多機能型居宅介護など多様なサービスを展開しています。ふれあいホーム桃山では、通い・訪問・宿泊を柔軟に組み合わせ、住み慣れた地域での生活継続を支援しています。また、地域交流スペースを併設し、認知症カフェの開催など地域に開かれた事業運営を行っています。
事業所名	ふれあいホーム桃山	管理者	若狭正展		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人(包括兼務)	人	4人	人	1人	1人	人	3人	1人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	改善計画を具体的に表記し、分かりやすく取り組みやすいように努めます。 計画内容が確実に実施できているかどうか、一定期間後には評価を行います。実施状況や重点的に取り組む内容等、運営推進会議で情報共有の機会を持ちます。	前回、自己評価をミーティング、参加職員で意見集約を行った。改善計画を具体化し、実施状況の確認や会議での共有を行うことで、理解が深まり取り組みやすくなった。ケア会議等で振り返りや確認できるよう努めた。	職員全員で改善計画に取り組み、内容の共有や実施状況の確認が行われており、サービスの質向上が感じられる。 職員間の理解も進んでいるが、一部取り組み状況の分かりにくい部分がある。	計画の内容を、職員全員が共通認識できるよう、わかりやすい自分たちの言葉として理解し、計画を実行しやすくする。 定期的にケア会議等で評価の時間をもち、全員で取り組み状況を確認することで、計画を実行しやすくする。
B. 事業所のしつらえ・環境	衛生管理に努め、気持ちよく過ごせる環境に努めます。 ご本人やご家族に対し、アンケート調査などを行い、具体的な改善項目などを把握し、より良い環境整備に努めます。	定期的な大掃除を実施し、衛生管理の徹底や空調・個別スペースの整備を行い、ご利用者が快適に過ごせる環境に努めた。一方、アンケートによる意見把握は実施できなかったが、環境整備は概ね良好で、ゆったりと過ごせる居心地の良い環境は維持できている。	衛生管理や空調・個別スペースの整備ができており、ご利用者が快適に過ごせる環境が整っていると感じられる。 一方で、アンケートによる意見把握は未実施のため、今後の改善につなげる取り組みが期待できる。	衛生管理や空調・個別スペースの整備を継続するとともに、アンケートを実施し、ご利用者やご家族の意見を把握する。 意見は職員全員で共有し、改善項目を明確にして環境整備に反映することで、快適に過ごせる環境をより確実に維持する。
C. 事業所と地域のかかわり	地域行事へ積極的に参加を行いとともに、参加してもらえるようなイベントや企画を事業所からも発信する。 隣組長会議などで、事業所の概要や内容をお伝えする機会を持ち、知っていただける機会が持てるように努めます。 パンフレットの改修を行います。	地蔵盆に参加し、炊き込みご飯の販売や地域交流スペースの開放を行うことで、地域の方々と交流する機会を持つことができた。一方、隣組長会議での説明やパンフレット改修は実施できなかったが、今後も事業所の情報発信に取り組んでいきたい。	地蔵盆への参加や地域交流スペースの開放により、地域の方々との関わりが持たれており、交流の取り組みが進められていると感じられる。今後は、モーニングカフェやサロン活動、文化福祉委員の活動、区民の集いなど、地域交流スペースを活用した参加の機会を広げることが期待される。	地蔵盆への参加や地域交流スペースの活用を通して、地域の方々との交流機会を増やす。 モーニングカフェやサロン活動、文化福祉委員の活動、区民の集いなど様々な地域活動に活用してもらえないか検討を進めたい。パンフレットの改修を通じ事業所の情報発信と交流を進める。

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>お一人お一人のご利用者の住む地区の行事等へ一緒に参加する機会が持てるよう努めます。 個別の支援内容で、民生委員や福祉委員の方の協力が必要な際には、サービス担当者会議等に参加いただき、協力が得られるよう努めます。 ご近所に心配な方等がおられた際には、情報共有が図れるよう努めます。</p>	<p>ご利用者の生活状況や活動範囲などを踏まえ、地区の防災訓練や地蔵盆、秋祭りでの神楽舞披露の見学などに参加支援を行った。地域の方と顔なじみになり、声を掛け合う関係ができた方もおられ、地域とのつながりが深まった。今後も無理のない形で継続していく。なお、担当者会議への民生委員の参加はなかったが、災害時の避難行動要支援者登録を通じた情報共有は行えた。</p>	<p>地域行事や防災訓練等への参加を通じて、ご利用者が住み慣れた地域とのつながりを大切にしたいと感じる。顔なじみの関係の構築は、災害時の安心にもつながる取組である。避難行動要支援者登録を通じた民生委員との情報共有も評価でき、今後は状況に応じてサービス担当者会議への参加があると、さらに地域連携が深まると考える。広報誌や回覧板で情報発信は継続し、活動記録も掲載すると、より良いと思われる。</p>	<p>ご利用者一人ひとりの生活圏や体調、意向を踏まえ、地区の行事や防災訓練等への参加支援を継続する。地域の方との顔なじみ関係を大切に、安心して暮らされ続けられる環境づくりに努める。民生委員との情報共有を継続し、必要に応じて担当者会議への参加を依頼する。また、地域資源の把握や活動内容の発信にも取り組む。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>運営推進会議を通じ、情報交換を行います。 様々な意見・情報交換の中で、サービスの質の向上になるように努めます。 事業所として地域活動を盛り上げられる協力体制に努めます。</p>	<p>運営推進会議で、事業所の活動状況やご利用者の地域行事参加状況を共有した。また、地域情報を活かして防災訓練への参加を実施。地蔵盆での炊き込みご飯販売など地域活動への協力体制を調整し、地域とのつながりやご利用者の安心につなげることができた。</p>	<p>運営推進会議で事業所の活動状況やご利用者の地域行事参加状況が共有され、地域情報を活かした防災訓練や地蔵盆での協力活動など、具体的な支援につながっていることが分かる。 会議での意見交換を通じてサービスの質向上や地域とのつながりが深まっており、ご利用者の安心にも寄与していると感じる。</p>	<p>ご利用者の生活圏や体調、意向に沿って、地区行事や防災訓練への参加支援を継続する。運営推進会議で活動状況を共有し、サービスの質向上や地域連携の強化につなげる。情報共有や地域資源の活用、活動内容の発信も行い、地域活動を盛り上げる協力体制を努めていく。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>消防避難訓練を年に1回は実施し、消防署より指導等を受けられるよう努めます。 地域の防災訓練に参加するように努めます。また、風水害や地震など自然災害に対する訓練の実施記録等を確認していただき、意見等がいただける機会を設けます。</p>	<p>消防避難訓練を年2回実施し、そのうち1回は運営推進会議時に行い、委員の方に実施状況を確認していただきました。また、運営推進会議で、訓練計画の提示もさせていただきました。併せて、地域の防災訓練（防災グッズ展示、消防署による防災講義）にも参加しました。また、地震・津波を想定した避難場所までの避難訓練や非常備蓄の持ち出し訓練を実施し、防災意識の向上と体制確認に努めました。</p>	<p>消防・防災訓練を継続的に実施し、運営推進会議で公開している点は評価できます。立地条件を活かし、指定避難場所へ向かうまでの一時的な避難先として活用できるか、地域と検討しても良いかと思えます。地域の防災訓練へ参加し、防災展示や講義を通じた学びと、利用者を含めた顔の見える関係づくりが期待されます。災害時優先電話の設置についても、今後検討されると心強いと思えます。</p>	<p>消防避難訓練を年2回実施し、うち1回は運営推進会議と併せて行い、意見をいただきながら内容の充実を図ります。併せて、区の防災訓練へ利用者とともに参加し、地域との顔の見える関係づくりを進めます。また、事業所の立地を活かした一時避難所としての活用や、災害時優先電話の活用についても検討していきます。</p>